

第3号議案 今年度活動計画について（承認）

協会は1988年の発足後35年を迎えているが、近年会員は減少傾向にある。

過去4年の会員数

2019年 433名（指導員会員 124名 一般会員 309名）

2020年 381名（指導員 135名 一般会員 246名）

2021年 392名（指導員会員 134名 一般会員 258名）

2022年 340名（指導員会員 134名 一般会員 206名）

*いずれも総会開催告知時に議決権のある会員数

特に一般会員の方の退会は顕著で、2021年度一旦戻ったものの2019年から比べると大幅に減少している。9期理事会ではこれを重く受け止め、基本に立ち戻り「アイアンガーヨガを広めるとともにその名を守り、学びたい人に情報や環境を提供すること」を残りの任期でできる限り見える形にして実行したいと考え、基本方針を立てた。

基本方針

理事会ができる限りアイアンガーヨガの普及のための活動に焦点できるようなシステムを作り、今後、無理なく運営ができる環境を作る。

そのために必要なこと

1 会員の方々には協会は「みんなの団体」と言うことを理解していただき、ご興味を持っていただけるような運営、活動をする。また、特に指導員会員の方々には共感性を持っていただけるような告知をする。

2 入会を検討している方、すでに会員になられている一般会員の方々にアイアンガーヨガの魅力、継続するモチベーションにつながるような広報活動をする。

3 それぞれの仕事を属人化しない。外注先と連携をとりながら、今後理事が変わってもその経験スキルに左右されることなく、誰がみてもわかる、誰でもできる体制を作る。

4 私たちが協会運営で得た知識、経験は協会の財産として次期に引き継ぐ。

具体的に実行すること

HPを軸に、引き続きタイムリーな情報告知、スムーズなデータ管理のために入力フォームの活用、ネット決済、既存発行物の閲覧、購入可能にする（予定）、協会運営が見える新規ページ作成をしていく。（下記参照）

<企画広報活動から>

■ HP 上で過去のデータをファイリングし、会員が入手可能なシステムを作る。

- ・ メールマガジンをダウンロード可能にする。
- ・ 過去のニュースレターをデジタル化。PDF データを、HP 上で購入可能にする。

■ その他

- ・ 昨年度に引き続き SNS の活用 Instagram、Facebook
- ・ 2023 年 9 月末 ニュースレター55 号発行予定
- ・ 2024 年 3 月末 ニュースレター56 号発行予定
- ・ 2024 年 3 月 16、17 日 Eyal 先生 対面コンベンション
場所: BumB 東京スポーツ文化館

<理事会から>

■ HP 上で協会運営を理解していただくために、理事の仕事を紹介するページをつくる。

■ 協会宛に来るメールの質問が類似していることが多々あるので、HP 上「よくある質問ページ」を作る。

<アセスメントについて>

- 2023. 9月22、23日 神戸 Level2
- 2023. 10月5、6日 東京 Level2